



津久見市議会だより

Tsukumi City Council News

第 93 号
3月 6月
12月 9月

令和 8 年 6 月 定例会
令和 8 年 8 月 1 日発行

編集発行：大分県津久見市議会
TEL 0972-82-9518



第 75 回 つくみ港まつり（津久見高校 吹奏楽部）

6 月定例会	2
市政を問う（一般質問）	5
議会報告会	10
6 月議員研修会	11
みんなガンバレ！	12
議長表彰	12



6月定例会

会期：6/15~7/3
(19日間)

総務常任委員会

6月25日、本委員会に付託された議案6件について審査を行いました。

◆議案第49号 専決処分の承認を求めることについて（津久見市都市計画税条例の一部改正）

説 地方税法が改正されたことにより、「改修特別特定建築物」に係る都市計画税を減額する割合を新設するなど、所要の改正を行ったもの。

◆議案第51号 専決処分の承認を求めることについて（津久見市税条例の一部改正）

説 地方税法が改正されたことにより、軽自動車に係る諸税の見直しや「改修特別特定建築物」に係る特例の新設など、所要の改正を行ったもの。

◆議案第52号 専決処分の承認を求めることについて（津久見市税特別措置条例の一部改正）

説 地域再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令が改正されたことにより、市税特別措置条例に基づく特例対象となる特別償却設備の設置期限が延長されたことなどから、所要の改正を行ったもの。

◆議案第53号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

説 地方自治法の一部改正に伴い、本市の複数の条例で引用する条文の条ずれが生じることから、整備が必要となる関係条例を一括して改正する条例を制定するもの。

結 以上4議案について、それぞれ様々な質疑がありましたが、審査の結果、全員異議なく、原案のとおり承認・可決すべきものと決しました。

◆議案第54号 津久見市税条例の一部改正について

説 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、個人住民税における特定一般用医薬品等の購入に係る医療費控除や住宅借入金等特別税額控除の適用期間の延長、固定資産における免税点の引き上げ、復興特別所得税の課税期間の延長や防衛特別所得税の創設に伴う寄附金税額控除に係る規定の整備、特定暗号資産の譲渡所得に係る個人住民税の課税の特例の新設等、所要の改正を行うもの。

結 委員から反対討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数を以って可決すべきものと決しました。

また、7月3日の本会議においても、反対討論があり、採決の結果、賛成多数をもって可決されました。

◆議案第55号 津久見市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

説 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部が改正されたことに伴い、葬祭補償に係る定額部分の額を上げよう、所要の改正を行うもの。

結 委員から質疑がありましたが、審査の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

社会文教建設常任委員会

6月25日、本委員会に付託された議案4件及び意見書1件について審査を行いました。

◆議案第50号 専決処分の承認を求めることについて（津久見市国民健康保険税条例の一部改正）

説 地方税法施行令等が改正されたことにより、国民健康保険税の基礎課税額に係る、課税限度額を引き上げるとともに、低所得者層の保険税負担の軽減を目的として、5割軽減及び2割軽減の軽減判定所得の見直しを行うなど、所要の改正を行ったもの。

◆議案第56号 津久見市火入れに関する条例の一部改正について

説 津久見市火災予防条例の改正等により、林野火災注意報及び、林野火災警報の発令に係る規定が創設されたことから、火入れの中止の条件に、林野火災注意報及び林野火災警報の発令時を追加するよう、所要の改正を行うもの。

◆議案第58号 新たに生じた土地の確認及び字の区域の編入について

説 大分県が実施した県道拡幅工事により生じた、大分県第1区域（津久見市大字四浦字鳩浦1533番4等の地先の公有水面290.99㎡）及び大分県第2区域（津久見市大字四浦字鳩浦1502番2等の地先の公有水面380.31㎡）を津久見市大字四浦字鳩浦に編入するもの。

◆議案第59号 字の区域の変更について

説 大字堅浦において地籍調査を行った結果、10筆について、合筆を行うために字界を変更する必要性が生じたため、整理を行うもの。

結 以上4議案について、それぞれ様々な質疑がありましたが、審査の結果、全員異議なく、原案のとおり承認・可決すべきものと決しました。

◆意見第2号 ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（案）について

結 提案議員に対し、過去に一般質問などで、複式学級を容認するような発言や3つの教育（家庭教育、学校教育、社会教育）が今現在、社会においてゆたかな学びの実現に結びついていない部分があるのではないかといった質疑があり、答弁がありましたが、審査の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

予算常任委員会

6月26日、本委員会に付託された議案4件について審査を行いました。

◆議案第46号 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度一般会計予算の補正）

説 歳入歳出それぞれ2,139万2千円を追加し、補正後の予算の総額を、歳入歳出それぞれ138億1,429万5千円としたもので、歳出では、事業費等の確定に伴う予算の調整などであり、歳入では、地方交付税、各種交付金、市債等の額が確定したことなどによるもので、繰越明許費の追加や変更を計上したものの。

◆議案第47号 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度保戸島航路事業特別会計予算の補正）

説 歳入歳出それぞれ350万円を減額し、補正後の予算の総額を、歳入歳出それぞれ1億8,710万円としたもので、国庫補助金及び航路船舶の燃料費、修繕料確定に伴う補正を行ったもの。

◆議案第 48 号 専決処分の承認を求めることについて（令和 7 年度津久見市水道事業会計予算の補正）

説 国の「社会資本整備総合交付金」等の交付決定に伴い、中町・小園町において、重要配水管路の更新に伴う補正を行ったもの。

結 以上 3 議案について、質疑がありましたが、審査の結果、全員異議なく、原案のとおり承認すべきものと決しました。

◆議案第 57 号 令和 8 年度一般会計予算の補正について

説 歳入歳出それぞれ 1 億 1,064 万 6 千円を追加し、補正後の予算の総額を、歳入歳出それぞれ、120 億 9,064 万 6 千円とするもので、歳出では、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、有料ごみ袋製造配送管理業務委託料の増額、農業者が農機具改修や備品購入、水産業者が船舶改修や備品購入などの環境整備に係る経費を支援するための補助金、プレミアム付きクーポン券事業や「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」

を活用し、津久見中学校体育館及び共同調理場の空調設備設置調査設計委託料などを計上し、歳入では、事業費の増額等に伴う国県支出金、諸収入、市債等の増額及び繰入金による調整を行うもの。

結 有料ごみ袋製造配送管理業務委託料について、中東情勢の影響はという質問に対し、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用することで、家庭用有料ごみ袋の販売価格は据え置き、市民への影響がないようにしたい」との答弁がありました。また、プレミアム付クーポン券事業について質疑があり、「利率については 30 パーセント、スケジュールは年末年始の商戦に間に合わせたい」、「クーポン券事業が十分な効果を発揮するように改善策について、関係機関と連携し、各事業者とも協議しながら今後の事業内容を検討していきたい」との答弁がありました。

その他にも、様々な質疑がありましたが、審査の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案の賛否表

賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

○：賛成 ●：反対 棄：棄権 欠：欠席

議案名	植田 志ほ	野田 和廣	内田 隆生	島田 勝	倉原 英樹	丸木 一哉	菊池 正一	井戸川 幸弘	黒木 章三	宮本 和壽	高野 幹也	知念 豊秀
議案第 54 号 津久見市税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	●

令和 8 年 第 3 回
9 月定例会の
ご案内（予定）

9 月 7 日（月）開会
15 日（火）議会一般質問
16 日（水）議会一般質問
17 日（木）常任委員会
9 月 18 日（金）常任委員会
24 日（木）常任委員会（予備日）
10 月 1 日（木）採決・閉会

説…説明 結…結論 審…審査

市政を問う

一般質問

6 月 23 日（火）・24 日（水）
9 議員が登壇 傍聴者延べ 23 名

顔写真横の
二次元コードから
各議員の一般質問
の動画をご覧ください
だけです。



津久見市議会録画映像インターネット配信 ▶ <https://www.kensakusystem.jp/tsukumi-vod/index.html>

人口減少まったなし！

しまだ
島田
まさる
勝



人口減少における担い手の創出について

問 人口の推移は

答 国勢調査によると、平成 17 年が 21,456 人、平成 22 年が 19,917 人、平成 27 年が 17,969 人、令和 2 年が 16,100 人、令和 7 年の速報値が、14,057 人です。

問 移住促進策のこれまでの取り組みと、今後の PR は

答 移住相談会や就農フェアなどに参加し、本市の PR を行うと同時に、移住・定住ポータルサイトなどで情報発信を行ってきました。令和 7 年度の各種移住関係補助事業の活用実績人数は、合計 27 世帯 49 人です。今後も本市の認知度向上も含めた移住・定住施策の情報発信を、これまで以上に力をいれていきます。

問 担い手となり得る関係人口の創出は

答 これまで、ふるさと納税や観光、産業、市内出身者、一市一校である津久見高校などを通じ、一過的な関係に

ならず「つくみ FAN」としてサポートしてもらえるよう、それぞれの関係を構築してきました。今後も移住定住促進や、地域の担い手になり得る関係人口の創出を積極的に進めます。

安全安心なまちづくりに向けて！！

問 街路灯及びカーブミラーの設置数は

答 国道及び県道に設置している、大分県臼杵土木事務所管内では、400 基程度設置。市が管理する市道は 15 路線に 85 基設置。市内の 40 の公園に 90 基設置。市が管理するカーブミラーの設置数は把握できていません。

問 安全点検はどのように実施していますか

答 市道は「道路パトロール」を年 2 回。公園内は遊具・樹木の点検の際、目視による異常の把握を実施しています。カーブミラーは本年 4 月から台帳登録作業を実施しています。

◆その他、「地方創生伴走支援制度について」質問をしました。

問…質問 答…答え

人間形成の土台を培う6年間

たかの みきなり
高野 幹也



「超低出生時代を迎えた津久見市の小学校の在り方検討委員会」について

問 本市の近年の出生数が40人前後で推移していること等を踏まえ、本委員会が設置されたが、これまでの協議内容は

答 第1回を令和7年10月29日に開催し、本市の現状把握と意見交換を行いました。

第2回を令和8年2月24日に開催し、諮問されている2点のうち、「超低出生時代を迎えた津久見市の今後10年間の小学校の在り方について」、特に当面の在り方について協議を行いました。

第3回を令和8年5月29日に開催し、「小学校の在り方を津久見市全体の問題として捉え、本市の将来を担う子どもたちに施す小学校教育の具体的な方向性についての検討」を議題として行いました。会議に先立ち、津久見小学校の

授業見学及び施設見学を実施し、校長より教科担任制の効果などについて説明を受けました。

問 本委員会の今後の予定は

答 7月開催予定の第4回の検討委員会では、大分県教育庁義務教育課より講師をお招きして、国の改訂作業中の次期学習指導要領で求められている新しい動きについて説明いただき、併せて新しい学習指導要領の趣旨を実現するための校舎や施設などのハード面等についても重ねて検討することを確認しています。

引き続き、本年9月開催予定の第5回での答申案の決定に向け、更に議論を深めていきたいと考えています。

◆その他、「県道大泊浜徳浦線について」「第10期介護保険事業計画の策定について」質問をしました。

女性管理職をふやせ

ちねん とよひで
知念 豊秀



問 現在の女性管理職の割合に対する現状認識と今後最低でも3割を目指す考えは

答 現在女性管理職は2名、割合は8.7%です。市民に対して、質の高いサービスや組織の活性化に不可欠と考えています。

問 育成プログラムと目標は

答 早い段階から幅広い経験を積むことのできる人事配置を行い、能力向上を図り育成に取り組んでいきます。

目標については、国・県の動向や採用状況などを踏まえながら登用促進に努めていきます。

問 一般男性職員の育休取得の現状は

答 令和7年度は、4名中3名で取得率75%となっており着実に向上しています。

人口減少と水道事業

問 老朽管の現状と更新計画は

答 耐用年数40年を超えた水道管の令和7年度における

管路経年化率は、13.75%となっています。国の交付金も活用しながら布設替・更新を行う予定です。

問 具体的な赤字額など、周知されてません。住民説明会など設けますか

答 市報にて市民へのご説明をいたします。

高齢者などの投票機会確保

問 投票所はバリアフリー化や車いすなど配慮、配置は十分ですか

答 本市では、投票所が15か所、内訳として学校6か所、その他の公共施設5か所、地域の集会所4か所となっています。バリアフリー化できているのは7か所、8か所は建物の構造上困難な場所ですので投票所で支援をするなど対応しています。

青江ダムの長寿命化対策について

問 県の堆砂除去計画は

答 令和6年に土砂1,800m³撤去し、今年度秋以降に測量して堆積状況を確認する予定です。

中央病院へ積極的な財政支援を！

きくち しょういち
菊池 正一



問 充実した医療体制維持に向けた市の対応は

答 中央病院は、専門的な医療や高度な検査を提供する地域医療の拠点として役割を担ってきました。また「へき地医療拠点病院」として大分県知事より指定を受け、離島、四浦半島での巡回診療を行うなど、へき地を含む市全体の地域医療を支えています。しかし、平成28年度より毎年約4,000万円～5,000万円の赤字となり（除コロナ禍期）、令和6年度は約1,900万円、令和7年度は約1億6,900万円の赤字額となっています。現在、病院の医師確保のため医療人材育成事業助成金として毎年400万円を助成し、大分大学医学部から医師を招へいしています。また病院用地の一部が民間所有であることから借地料の一部を市が負担しています。今後も、病院の経営状況を把握しながら、長期的に持続可能な地域医療の実現に向け、県、医師会、関係機関

などとも協議、検討していきたいと考えています。

問 街なか観光拠点、財政リスクの懸念は

答 財政リスクについては、初期整備費用と運営費用の双方を、十分に検討する必要があります。初期整備費用については、総務省や国土交通省、農林水産省のほか各省庁に休憩機能、情報発信機能、地域連携機能などの「道の駅」支援メニューがありますので、財源確保に努め、民設民営、公設民営など最適な事業手法を検討します。運営費用については、実現可能性調査報告書でも、民間事業者による運営とし、収益を伴う機能と公共性の高い非収益機能が混在することから、指定管理者制度の活用や民間事業者による運営など、多様な運営手法の比較検討を行い、持続可能な運営体制の構築につなげていく必要があると考えています。

基金の効率的な運用を！

まるき かずや
丸木 一哉



問 基金の運用状況は、どうなっていますか

答 津久見市では、減債基金など16の基金での一括運用を行っていますが、安全かつ有利な方法として、定期預金以外に、銀行預金よりも利率が高く一定期間ごとに利息を受けとり満期まで保有すれば原則として額面が保証される債券運用を行っています。令和7年3月末時点での定期預金額は、11億4,580万円となっており、基金全体で占める割合は26パーセント、債券運用額は、7億7,170万7,000円となっており基金全体の17パーセントです。

債券の内訳は、利率0.5パーセントの国債が額面1億円、利率0.9パーセントの国債が額面4億円、利率1.1パーセントの国債が額面1億円、利率1.6パーセントの国債が額面1億円、利率0.459パーセントの定時償還地方債が額面7,300万円となっています。

令和6年度の実績は、定期預金利息38万

3,945円、債券運用利息612万8,220円、運用収入338万2,000円となっています。

問 これからの基金運用をどう考えていますか

答 先日の金融政策決定会合で政策金利を1パーセント程度引き上げることが決定されたことを受け、銀行の預金金利にも影響があると考えられます。今後も、先進的な取組をされている自治体を参考にするとともに、他市の会計管理者や関係機関の話を伺いながら、財政状況、金融市場の変動に注視し、確実かつ効率的に運用していきたいと考えています。

◆その他、「市道松川線について」「石灰石資源を活用した観光について」質問をしました。



職員採用における認識と対策は！

の だ かずひろ
野 田 和 廣



問 近年の職員の早期退職の要因は

答 退職理由につきましては、一律に要因を申し上げることはできませんが、転職、家庭の事情、健康上の理由など様々であり、若年層を中心とした就業意識の変化やキャリア形成に対する考え方の多様化も背景の一つであると認識しております。

本市といたしましては、職員が安心して働き続けられるよう、職場環境の改善や人材育成、ハラスメント防止、ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組み、人材の定着に努めてまいりたいと考えております。

問 職員採用において、どのような対策をしているのか

答 本市では、多様な人材を確保するため、技術職、一般事務職も含め、社会人経験者採用を導入し、受験年齢の上限を引き上げるなど、採用機会の拡大を図ってまいりました。

今後も、採用制度の見直しや効果的な人材確保策を検討するとともに、働きやすい職場環境づくりを進め、人材の確保と定着の両面から取り組んでまいります。

問 津久見高校生の推薦枠を設けては

答 地元人材の確保や地域への定着という観点から、一つの考え方であると認識しております。現段階で特定の学校に推薦枠を設けることは考えておりませんが、地元高校との連携、主にインターンシップ（就業体験）やつくみ産業博への参加など市役所の仕事や魅力を知っていただく機会の充実に努め、将来本市職員を志望する若者の裾野を広げてまいりたいと考えております。

◆その他、環境整備における「(1)プラスチック類(資源ごみ)について」「(2)ストックヤード整備事業について」質問をしました。

命を守る、命を繋ぐ取り組みを!!

う え だ し ほ
植 田 志 ほ



①防災面から

問 防災教育の必要性は

答 災害から自らの命を守る力を育成することを目的に取り組んでいます。地域防災の学習、危険箇所点検、消防本部等と連携した体験学習会などを実施しています。

問 新庁舎での避難訓練の実施は

答 現在建設中の新庁舎は、南海トラフ地震等による津波の際には、津波避難ビルとして1,000人超の一時避難場所を確保する防災拠点施設を兼ねた建物です。新庁舎開庁後には、災害時の安全確保と市民や職員の意識向上を図るために避難訓練を計画したいと考えております。

②教育面から

問 インターネット環境の危険性は

答 スマートフォンやタブレット端末の普及により、小・中学生が日常的にインターネットを使用する環境が整っている一方で、SNS上の誹謗中傷、いじめなど、様々な危険性が指摘されています。学習指導要領に基づき、情報モラル教育を実施し、情報通信技術の進展に伴う新たな課題に対応しながら、安全かつ適切にインターネットを活用できる力を育成していきます。

問 性教育の必要性は

答 性に関する指導は、児童生徒が自他の命を大切に、心身の発達を正しく理解するとともに、望ましい人間関係を築く力を育むために、極めて重要な教育と認識しています。これからも児童生徒が安心して学べる環境づくりに努めてまいります。

こうした今日的な危険に対しても、その危険性を知らしめ、身を守る学習を低学年から行う必要があると考えます。

臼津バイパスの交通混雑緩和を

い ど が わ ゆ き ひ ろ
井 戸 川 幸 弘



問 臼津バイパスにおける朝の交通混雑は、通勤車両の集中により、市民生活への影響も出ています。信号機調整など短期的対策を含め、今後の交通混雑緩和の取り組みは

答 平日朝の通勤時間帯に臼津バイパスの青江交差点付近を中心に周辺道路の交通混雑が発生しており、交通混雑緩和及び事故抑制などを目的として、新たに津久見インターチェンジから津久見市街地を直線的に結ぶ平岩松崎バイパスの早期完成を目指しています。また、信号調整などによる交通対策は今後臼杵津久見警察署を通じて相談していきます。

問 令和7年の国勢調査結果を踏まえた今後の市政運営について

答 令和7年国勢調査の速報値で本市の人口が1万4,057人になり、5年前と比べ12.69%減少したことは、少子高齢化の進行や若年層

の転出などの影響が表れ、厳しい状況であると受け止めています。本市では今後10年を見据えた第6次総合計画を策定しました。人口減少そのものを直ちに止めることは容易ではありませんが、地域の活力や住民の暮らしの質を維持・向上させることを重視し、住み続けたい、住んでみたいと思われるまちづくりを進め、子育て支援や若者の定住促進、移住・関係人口の拡大などに取り組み、人口減少を緩やかにしていくことが重要です。

本市としては、人口が減少する中においても、将来の人口規模を見据えながら持続可能な市政運営に取り組んでまいります。



津久見の未来につなぐⅡ

う ち だ た か お
内 田 隆 生



問 街なか観光拠点について

答 現計画地である新庁舎横にこだわらず、物産、飲食などの地域連携機能をつくみん公園側に配置し、新庁舎横は、市民や来訪者が憩いの場として活用するなど、「みなとオアシス津久見エリア」全体で、検討していきたいと考えています。その関連予算を、今定例会で提案しており、議決いただければ、事業を実施し、令和9年度以降に、市場調査等を行っていききたいと考えています。

問 行政倫理について、(1)中学校給食無償化について、ア なぜ新年度予算上程時、保戸島中学校を対象外としたのか

答 中学校給食費の無償化の目的は、物価高騰の中、子育て世帯の負担を軽減することによる子育て支援であり、それがひいては、人口減少対策につながるものと考えています。

その中で、制度設計をした段階で保戸島中学校の生徒に対する支援が含まれていなかったことは、公平性について、配慮が足りなかったと反省しているところです。それらを踏まえて、今定例会において、保戸島中学校の生徒が持参する弁当の回数に応じて、給付金を支給する補正予算案を提案しており、議決いただければ、令和8年4月に遡及して、保戸島中学校の保護者に給付金を支給したいと考えています。今回の反省を踏まえ、今後、特に新たな事業を検討する際には、これまで以上に協議の時間を確保し、庁内で様々な角度から制度の平等性・公平性が担保できているのかなどのチェックを行いながら、市民により良いサービスを提供していきたいと考えています。

◆その他、「ふるさと納税について」「旧第二中学校舎の活用について」質問をしました。

〈令和8年度第1回議会報告会を開催しました〉

5月20日・21日に、各議員が2班に分かれ、市内4地区で議会報告会を開催しました。各委員会の報告、令和8年度予算の説明、第6次総合計画などの報告後、参加していただいた市民の方から地域の状況、市政に関すること、議会に関することへのご要望や様々なご意見をいただきました。これからの議会及び議員活動に活かしていきます。ご参加ありがとうございました。



詳しくはこちら

(各会場での開催日時と来場者)

- 5月20日 19時から 徳浦公民館 来場者 27名
- 5月20日 19時から 津久見市民会館 来場者 7名
- 5月21日 13時から 無垢島地区集会所 来場者 16名
- 5月21日 13時から 畑地区集会所 来場者 9名

○ 会場での意見等

【旧第二中の跡地活用】

- 旧第二中の跡地利用に関して山側の校舎が事前見学会の時には見せてもらえなかった。山側の校舎の活用も考えて欲しい。

【市役所新庁舎建設について】

- 新庁舎完成後は今の旧市役所庁舎はどうするのか。解体などにかかるお金はどうするのか。
- 新庁舎建設後のまちなか観光交流拠点の計画は今どうなっているのか。(市民の意見も取り入れて欲しい)

【第6次総合計画作成について】

- 新しい第6次総合計画で『Well-Being』(ウェルビーイング)と言う聞きなれない言葉が使われているが、これを今後広めていくのか。

【学校関連】

- 小学校の在り方検討委員会に参加している委員の方々は玖珠町の玖珠美山高校など魅力ある学校を見に行かれたのですか。

【その他】

- 徳浦川に土砂が堆積していて、大雨の時に川が増水して溢れる恐れがある。土砂の浚渫を行って欲しい。
- 市議会も農業関係者との意見交換する場を持ってほしい。
- 無垢島の避難所指定の集会所が雨漏りし、外壁も剥げ落ち危険。早急に対応して欲しい。
- 畑地区の簡易水道の水道料の補助ができないか検討してほしい。

※これらは各会場で伺ったご意見の一部です。詳しくはホームページをご覧ください。

なお、津久見市議会では、津久見市内の団体との意見交換会も行っております。希望する団体等は、議会事務局までお問合せください。(☎ 0972-82-9518)



徳浦公民館



津久見市民会館



無垢島地区集会所



畑地区集会所

議員研修会を開催しました！

令和8年7月3日(6月定例会閉会后)



『移動期日前投票所について』

講師 臼杵市選挙管理委員会

局長 佐藤 英治 氏・次長 山本 靖子 氏

移動期日前投票所導入の経緯

投票区の統廃合

- 期日前投票をする人が多くなっている。
- 地区にとっては、立会人の選出が難しい。
- 市職員の減少により、事務従事者の配置が難しくなっている。
- 有権者数50名以下の投票区3か所を統廃合。



移動市役所車両の導入

- 市が行政車両として購入し、移動期日前投票所としても活用している。
- 導入経費：1,900万円
(過疎地域持続的発展支援交付金 充当率 10/10)

対象地区への説明

- 対象地区の区長、地区住民への説明。
- 対象3地区より、統廃合について同意書。
- 選挙管理委員会で統廃合決定。
- 選挙管理委員会で移動期日前投票所開設場所、時間の決定。(4か所 1か所：2時間)

投票の動向

- 当日投票者数は、大きく減少。
- 当日投票をしていた人は、新しい遠くの投票所へは行かず、移動期日前投票所を選択した。

対象地区への周知

- 移動期日前投票所の体験会を実施。
- 当日の移動期日前投票所のお知らせを全戸配布、ケーブル TV、市公式 SNS 等で周知。



※最後に「今後、商業施設や高校などで開設に向けて検討していきたい。」とのことでした。



これからの津久見のために！ 津久見で頑張っている人を応援します♪



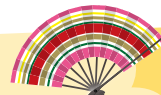
みんなガンバレ！



三味線



今回は
津久見扇子踊り保存会『わかば』
の皆さんを紹介します♪



琴

津久見扇子踊り保存会 会長
小手川智佳子先生にお話をお聞きしました。

Q1 『わかば』について教えてください

A1 津久見扇子踊り保存会、育成
チームとして、『わかば』を結成
しました。幼児から高校生まで
在籍しています。

Q2 津久見扇子踊りの魅力は？

A2 津久見市に伝わる伝統芸能、先人が残してくれた優雅な舞い、
心に染みわたる歌声、音色、扇の艶やかさです。

Q3 練習で頑張っていることはどんなこと
ですか？

A3 踊りは所作事の難しいところ、和楽
器は各楽器の取り扱い方の違いなど
覚えることが多いです。

Q4 皆さんへメッセージをどうぞ

A4 津久見にこんな素晴らしい伝統芸能が
継承されているので、これからも頑
張って続けていきたいと思っています。
私達と一緒に踊りませんか？

正副議長表彰

5月27日に東京で開催された第102回全国市議会
議長会定期総会で、議員永年勤続表彰と正副議長表彰
が行われました。

当市議会からは、正副議長4年以上で、黒木章三
議長が受章されました。

